

2019年 か ぜ ひ か

風光れ

人権のたより 第17号 10月11日発行

三重県立津東高等学校



「償い^{つぐな}」ということを考えてみます。もう20数年前。帰宅途中、車内でラジオからある歌が流れてきたのです。6分の歌を聴いているうちに涙が止まらなくて仕方なかったのです。さだまささんの「償い^{つぐな}」という歌だったのです。是非歌を聴いてみてください。

(歌詞)♪ 月末になると ゆうちゃんは薄い給料袋の封も切らずに 必ず横町の角にある郵便局へとび込んでゆくのだった 仲間はそのな彼を見て、みんな貯金が趣味のしみつたれた奴だと 飲んだ勢^{あざわら}いで嘲笑っても ゆうちゃんはニコニコ笑うばかり 僕だけが知っているのだ 彼はここへ来る前にたった一度だけ たった一度だけ ^{かな} ^{あやま} 哀しい誤ちを犯してしまったのだ 配達帰りの雨の夜 横断歩道の人影にブレーキが間にあわなかった 彼はその日とても疲れてた 人殺し あんたを許さないと ^{なが} 彼をののしった 被害者の奥さんの涙の足元で 彼はひたすら大声で泣き乍らただ頭を床にこすりつけるだけだった それから彼は人が変わった 何もかも 忘れて 働いて 働いて 償いきれるはずもないが ^{なが} せめてもと 毎月あの人に仕送り^{なが}をしている 今日ゆうちゃんが僕の部屋へ泣き乍ら走り込んで来た しゃくりあげ乍ら 彼は一通の手紙を抱きしめていた ^{あて} それは事件から数えてようやく七年目に初めて あの奥さんから初めて彼宛に届いた便り 「ありがとう あなたの優しい気持ちは とてもよくわかりました だからどうぞ送金はやめて下さい あなたの文字を見る度に 主人を思い出して辛いのです あなたの気持ちはわかるけど それよりどうかも うあなたご自身の人生をもとに戻してあげて欲しい」 手紙の中身はどうでもよかった それよりも償いきれるはずもない あの人から 返事が来たのが ありがたくて ありがたくて ありがたくて ありがたくて ありがたくて 神様って 思わず僕は叫んでいた 彼は許されたと思っていいいのですか 来月も郵便局へ 通うはずのやさしい人を許してくれてありがとう 人間^{かな}って哀しいね だってみんなやさしいそれが傷つけあってかばいあって 何だかもらい泣きの涙が とまらなくて とまらなくて とまらなくて とまらなくて ♪

この歌には、こんな話もあります。2002年2月19日、東京地裁でその2人の少年に懲役2年以上5年以下の不定期刑という実刑判決が下された。被告少年2人は「一生をかけて償う」「私という人間を根本から変えていきたい」と遺族への謝罪したが、反省の色が薄いと感じたのか、山室恵裁判長は「唐突だが、君たちはさだまさしの『償い^{つぐな}』という歌を聴いたことがあるだろうか？ 歌詞だけでも読めば、君たちの反省の言葉がなぜ心を打たないのかわかるだろう」と、言いました。・・・ 痛ましい出来事が多い中しみじみします。